

平成15年6月3日

発行：那覇市・南風原町ごみ処理施設事務組合
TEL (098)833-6673 FAX (098) 833-6675
E-Mail : keikaku@n-h-gomi.or.jp
Homepage: <http://www.n-h-gomi.or.jp>

●ごあいさつ

平素よりみなさまには当組合事業に対し、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。おかげさまで新ごみ処理施設につきましては、2月14日に起工式も終え順調に工事が進んでおります。今年度は新ごみ処理施設のごみ焼却熱を利用した還元施設の基本計画を策定する予定であります。同施設は、特にごみ処理施設周辺地域にお住まいのみなさまの意向や、ご要望が反映された施設を建設していきたいと考えております。そのためにも、地域のみなさまと情報を共有し共通認識のうえで事業を進めていく所存であります。最後に、この広報誌がみなさまとの情報交換の一助となることを願っております。

那覇市・南風原町ごみ処理施設事務組合
管理者 翁長雄志



新ごみ処理施設の建設工事起工式で工事の安全を祈願して
鍬入れを行う翁長雄志那覇市長と城間俊安南風原町長

新ごみ処理施設イメージパース

●平成18年春の供用開始を目指して

第1回還元施設建設協議会開かれる

平成15年5月14日南風原町の宮城公民館で第1回還元施設建設協議会が行われました。新ごみ処理施設に伴う還元施設整備は周辺地域住民のみなさまの意向や要望を把握し市民、町民のみなさまに親しまれ等しく利用される施設の建設を目的にしています、当協議会は、新ごみ処理施設周辺7地区の代表者で構成されています、この日は午後6時より18人の委員、全員参加で開催されました。最初に委員の皆様へ委嘱状の交付が有り、引き続き第1回還元施設建設協議会が行われました。

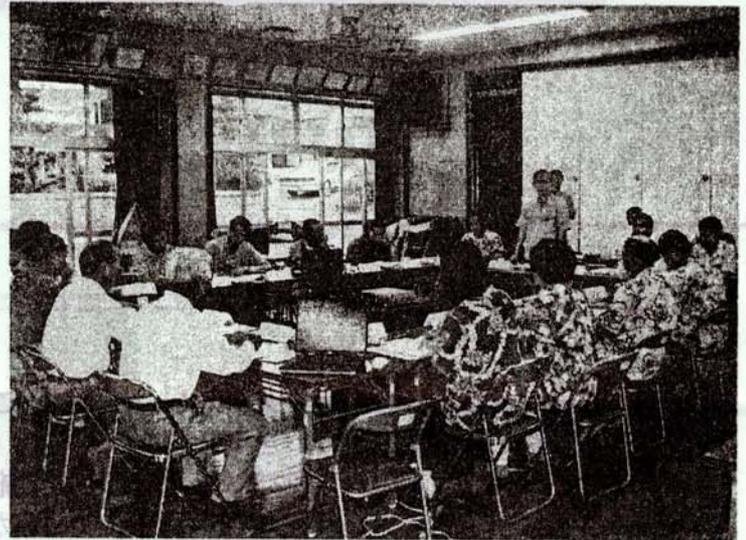
はじめに、組合の担当者より今後のスケジュール等の話があり各委員から活発な質疑や意見交換が行われました。

今後は委託業務を受託した韓国建より地域のみなさまへのアンケート調査や、ワークショップを行いみなさまの意向を取りまとめ、今年の9月末に基本計画書を作成し、平成18年春の供用開始を予定していますので今後もご協力お願いいたします。

なお、協議会の議事録は事務局で閲覧できるように整理してありますので閲覧を希望される方は、事前に事務局までご連絡ください。

(還元施設建設協議会委員)

南風原町	宮城区	花 城 清 元
		与那嶺 徳
	大名区	宜志富 清
		比 嘉 博
	新川区	大 湾 剛
岡 崎 晋		
東新川自治会	砂 邊 松 永	
	大 城 隆	
那覇市	鳥堀町自治会	仲 本 政 博
		知 念 政 臣
	県営鳥堀市街地住宅自治会	船 越 義 功
		湧 上 利枝美
	城東団地自治会	翁 長 初 子
又 吉 元 英		
那覇市・南風原町ごみ処理施設事務組合	喜久山 雅 身	
	宮 城 勇	
	金 城 宏 伸	
	高 良 博	



第1回還元施設建設協議会 (南風原町宮城公民館)

■ (なんだろう??) このコーナーは、みなさまの質問にお答えするコーナーです。

Q: 還元施設ってなんだろう?

A: 新ごみ処理施設建設に伴う還元施設については、ごみ処理施設の余熱を有効利用した健康増進を目的とした施設等の整備を検討しています。県外の例ではこうした還元施設として、温浴施設や温水プール、トレーニングルーム、集会施設やミーティングルーム等地域を元気にする施設として整備されています。

Q: ワークショップってなんだろう?

A: 住民が直接参加して、施設の案をつくり自分たちの街づくりを提案していくものです。

Q: まちづくりと還元施設整備のちがいはなんだろう?

A: 那覇市と南風原町では、那覇市環境センター周辺地区の適正かつ計画的な土地利用を図るために周辺地区の住民のみなさまが主体のまちづくりを進めております。

これは、まちづくり協議会での話し合いや、住民意向調査等を基に将来の土地利用の基本方針(素案)の策定を行い、周辺地域全体を考えて土地利用の誘導を図っていくものです。

還元施設の整備は、那覇市・南風原町ごみ処理施設事務組合が新ごみ処理施設の建設に伴い行う事業で、周辺地域のまちづくりと整合性をもちながらも、ポイント的な整備が中心になります。

▼ (還元施設建設協議会事務局よりお知らせ)

還元施設建設協議会事務局では、協議会の開催をできる限り地域の公民館を利用して地域の状況を把握していきたいと考えていましたが、那覇市鳥堀町自治会の仲本会長より次回は是非私たちのところだと嬉しい申し出がありましたので次回は、那覇市鳥堀町自治会集会所で開催する予定です。

(編集後記)

那覇市・南風原町ごみ処理施設事務組合の広報誌として、第1号を発行することができました。今後は、年に4回程度の発行を考えていますので地域のみなさんが知りたいことや、興味のあることを分かりやすくまとめ、親しみもてる広報誌作りをしていきたいと思ひます。

みなさんからのご質問、ご意見を受け付けておりますのでEメールかFAXでお寄せください。